

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

長崎県

行事名称	令和5年度 文化財防火デーに伴う防火訓練
実施期間・日時	令和6年2月3日(土) 9:30 ~ 10:40
実施場所	頭ヶ島天主堂(長崎県南松浦郡新上五島町友住郷638番地1)
主催者	新上五島町教育委員会・新上五島町消防署・新上五島町消防団

■実施内容

訓練の想定

日曜日のミサ中に石油ストーブが異常燃焼を起こし、消火しようとしたが誤ってストーブを倒し、漏れた灯油に引火した。信徒が屋外に避難しようとして教会入口ドアを開放したところ強風が吹きこみ延焼拡大し、その際慌てて避難しようとした信徒2名が転倒し、教会内で動けなくなった。

訓練の内容

- ① 実情の態勢での消防訓練(消火、通報、避難訓練)を並行して行う。
- ② 通信訓練(防災行政無線及び消防、救急無線の効果的な活用)
- ③ 出動訓練
- ④ 火災防ぎよ訓練(水利部署・ホース延長・筒先配備)
- ⑤ 避難誘導訓練(避難所への誘導)

参加者及び役割分担

頭ヶ島教会神父 1名、頭ヶ島教会信徒 3名、鯛ノ浦教会信徒 1名、信徒の家族 2名(初期消火、避難)
 頭ヶ島の集落インフォメーションセンター職員 3名(119番通報、避難、交通誘導)
 消防団関係者 17名(有川地区本部分団 1名、赤尾分団、友住分団、江ノ浜分団:初期消火及び避難誘導)
 消防署 14名(消防署長以下、本署職員、ポンプ隊、救急隊:初期消火及び避難誘導)
 新上五島町 4名(教育長以下生涯学習課文化財班職員):誘導 現場立ち合い

特に工夫した点

放水にあたっては建造物に直接あたらないように注意する。
 要救護者の避難訓練についてもダミーを教会外に配置し、教会内と想定して訓練を行う。

問題点・課題

今回の火災は日曜日のミサ時を想定しているが、団体観光客が入っている状況や夜間の無人の場合は、実際の火災時大きく対応が異なることに十分留意する。頭ヶ島地区信徒の高齢化に伴う訓練参加者の減少が懸案事項であるため、同じ小教区から信徒に訓練参加を依頼するなど、今後の訓練参加者の確保が課題。

その他

今年度、新しく赴任された神父とともに防火訓練を行うことが出来た。

訓練風景



避難訓練



放水訓練